

9/28 玉座

## オスプレイ

# 違法の高度90メートル容認

## 日米合同委 常態化の恐れ

日米両政府は26日の日米  
合同協定で、米海兵隊普

が実施されます。

天間基地（沖縄県宜野湾  
市）所属のMV-22オスプレイ  
の飛行訓練の高度を100  
m（約330ft）以上か  
ら300m（80ft）以上か  
ら飛行するかを決めま  
した。

期間は27日から10月18日  
までで、実施場所は沖縄県  
内を除く日本の山岳地帯と  
してこます。具体的な場所  
は公表されていませんが、  
在日米軍再編に伴う訓練移  
転に併せたものとしてお  
り、10月1日から14日まで

北海道でオスプレイの訓練  
が実施されます。

度を定めており、人口密集  
地などでは最も高い障害  
物から300m以上へや  
家屋がない場所では15  
0m以上としています。在

日米軍は日米地位協定に  
より航空法の適用が除外  
されていますが、2012  
年の中日米合意では航空  
法を念頭に、オスプレイの  
最低飛行高度を500mに  
じじてこます。今回の合意  
では名実ともに航空法  
を踏みにじり、「安保法体

系」が憲法の上にある現実  
をあからさまに示しまし  
た。

防衛省は、高度90mの訓

練が、敵のレーダーからの  
捕捉や対空火器からの攻撃  
回避や、捜索・救難活動に  
必要不可欠であり、「日米

同盟の抑止力・対処力を強

化するもの」だとしています。

す。日米同盟さえ擱げれ

ば、どんな無法も許される

ことがあります。

が、この超低空訓練は、  
まだ、この常態化する可能性もあります。